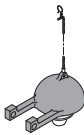


排水弁パッキン取り替えのすすめ

長く使っている便器では、排水弁パッキンが劣化しているおそれがあります。
便器洗浄ユニットの施工に合わせて、お取り替えされることをおすすめします。
* 品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

施工タイプ	便器品番		排水弁パッキン
A	CS406 系	CS406BS1 CS406BY1	品番：TH418-1 希望小売価格：¥850 
		CS406BS7 CS406BY7	
B	CFS880BA 系	CS406BPN CS406BPY	品番：93331E 希望小売価格：¥170 
		CS406BPN7 CS406BPY7	

TOTO

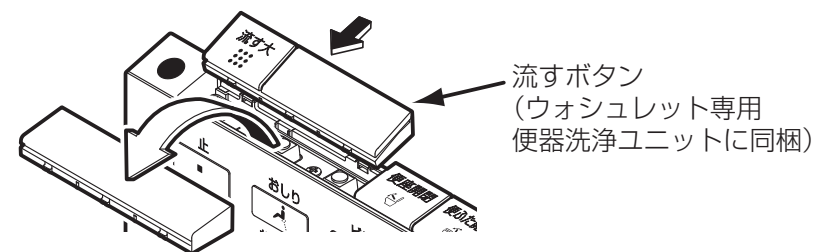
施工業者様向け

便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（ワンピース便器用）

重要

リモコンには流すボタンが取り付けいていません。
必ず取り付けてください。



施工タイプ **2** 種類から必ず 1 つ選択してください。

●施工手順（2 ページ）は必ずご覧ください。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

TOTO 株式会社
TOTO ホームページ <http://www.toto.co.jp/>

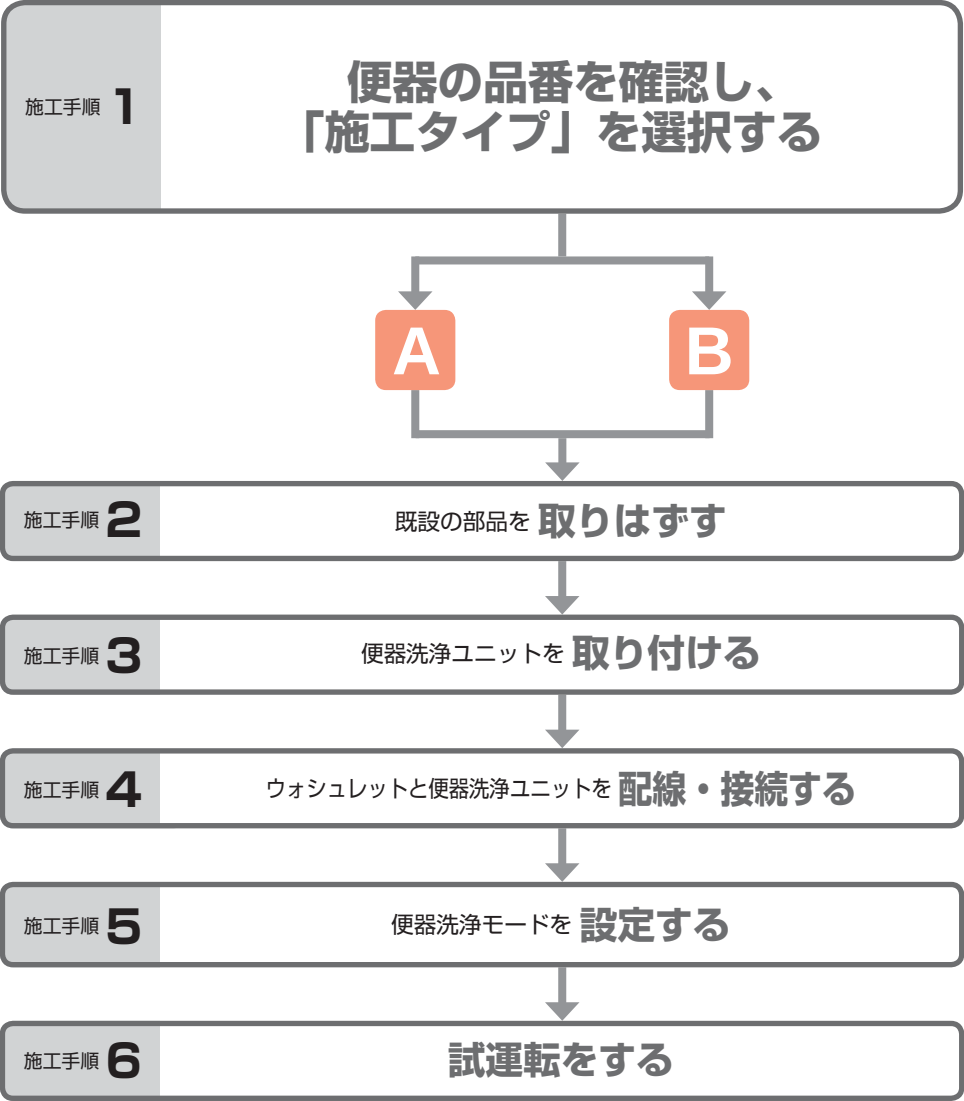


このQRコードは
メーカー管理用です。
2012.1.6
D08636



施工の流れ

便器によって、施工タイプは 2 種類に分かれます。
施工タイプに合った施工方法と部品で、正しく施工してください。



施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

便器一覧表		施工タイプ
便器品番		
CS406 系	CS406BS1 CS406BS7 CS406BPN CS406BPN7 CS406S1 CS406S7 CS406PN CS406PN7 CS406BY1 CS406BY7 CS406BPY CS406BPY7 CS406Y1 CS406Y7 CS406PY CS406PY7	A (P.4 へ)
CFS880BA 系 (一般地のみ) ※寒冷地品はセット不可 (便器部の 表示ラベルは CS880 系)	CFS880BAU1 CFS880BAU7	B (P.5 へ)

施工タイプ **A** のとき

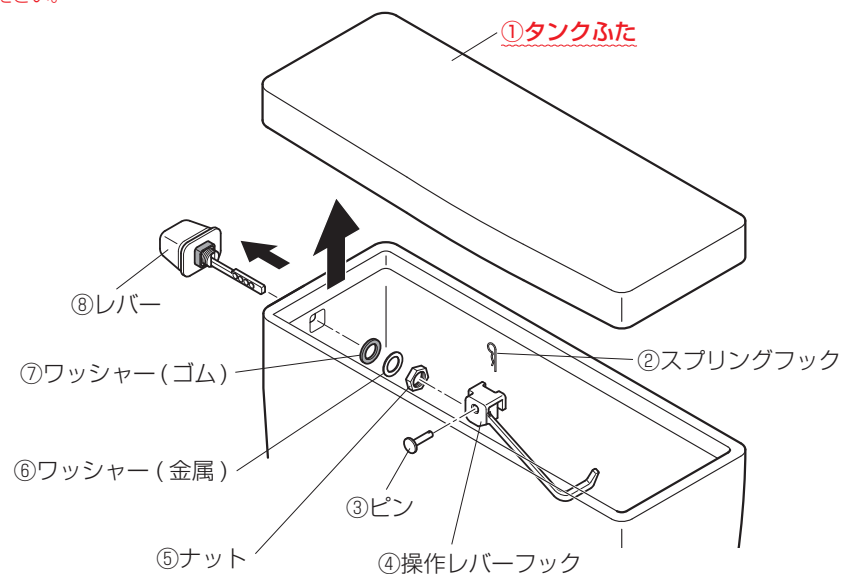
1 止水栓を閉めて、便器内の水を抜く

2 部品を取りはずす
(下記参照)

ご注意

機種によって、便器と部品の形は異なります。

- ①の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



便器洗浄ユニットを取り付ける

施工タイプ **A** は P.6 へ

施工タイプ **B** のとき

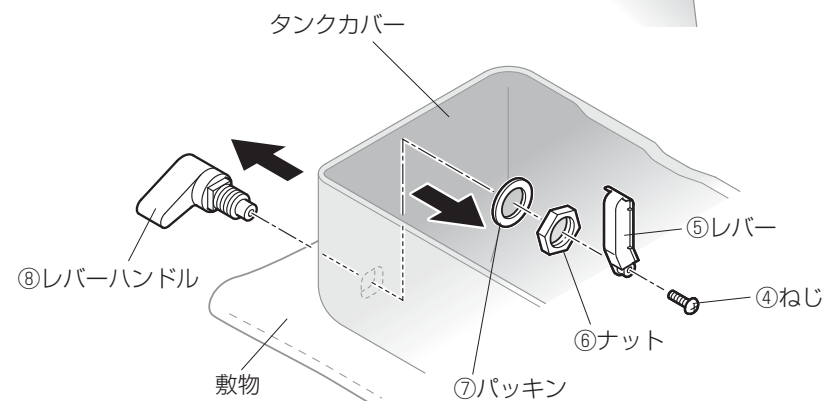
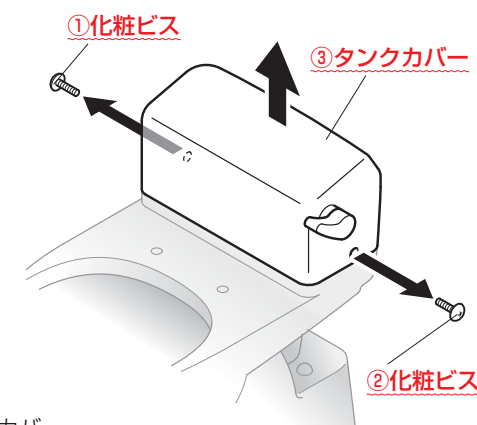
1 止水栓を閉めて、便器内の水を抜く

2 部品を取りはずす
(下記参照)

ご注意

機種によって、便器と部品の形は異なります。

- ①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。
- 取りはずした③タンクカバーは敷物を敷いた上に裏返して置いてください。
(直接床に置くとキズをつけるおそれがあります。)



便器洗浄ユニットを取り付ける

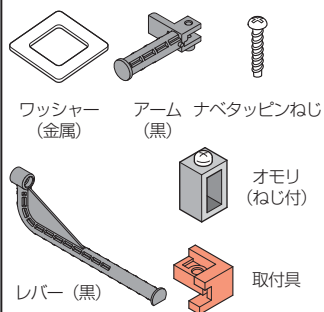
施工タイプ **B** は P.10 へ

1 部品を選択する

使用部品



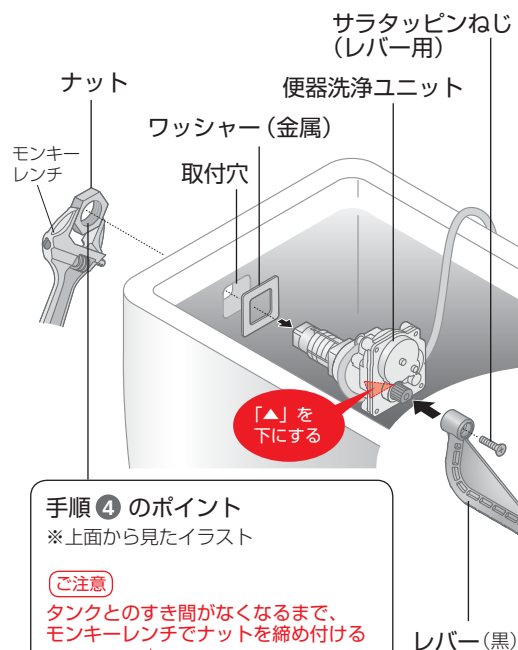
使用しません



2 便器洗浄ユニットにレバー（黒）を取り付け、サラタッピンねじ（レバー用）で固定する

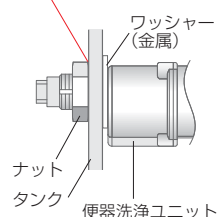
3 ワッシャー（金属）をはめ込む

4 便器洗浄ユニットをタンクの取付穴に差し込み、ナットをモンキーレンチで締め付ける



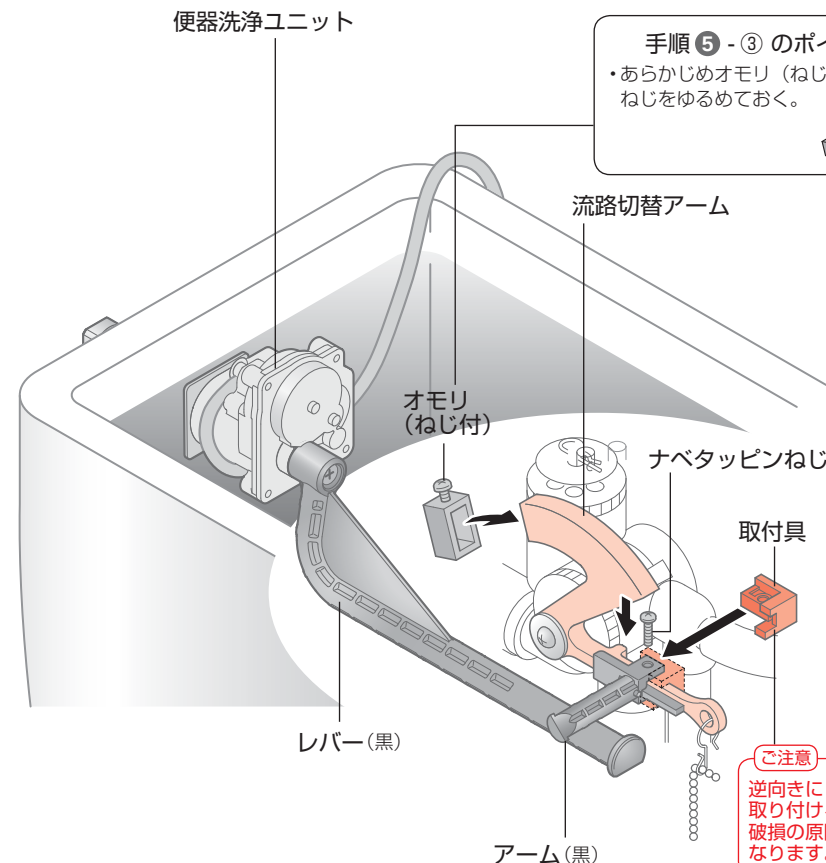
手順④のポイント
※上面から見たイラスト

ご注意
タンクとのすき間がなくなるまで、
モンキーレンチでナットを締め付ける



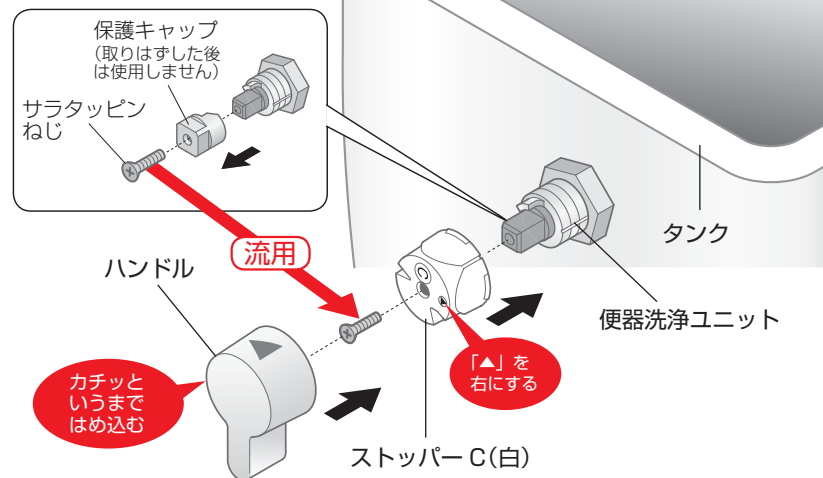
5 アーム（黒）を取り付ける
①アーム（黒）をセットしやすいように
流路切替アームを回す
②ナベタッピンねじで取付具とアーム
（黒）を固定する
③オモリ（ねじ付）をセットする

手順⑤-③のポイント
・あらかじめオモリ（ねじ付）の
ねじをゆるめておく。



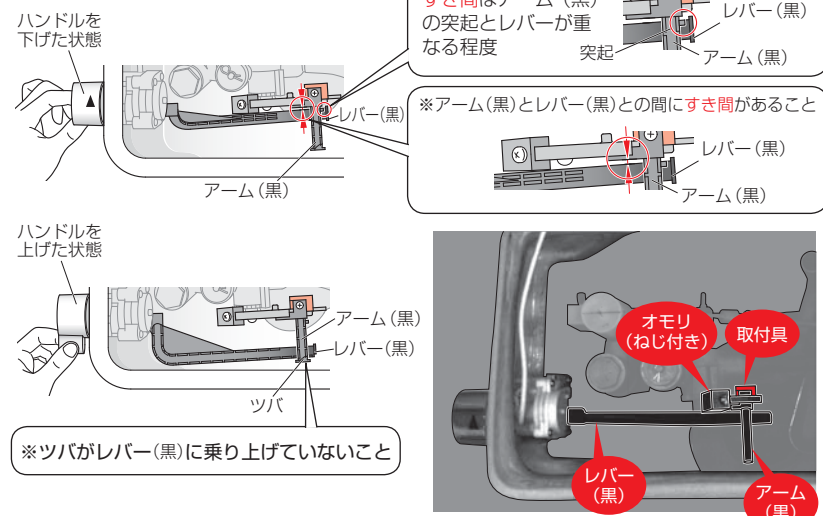
ご注意
逆向きに
取り付けると
破損の原因に
なります。

6 保護キャップをはずして ハンドルを取り付ける



7 レバー（黒）とアーム（黒）の取付状態の確認

正しい施工状態



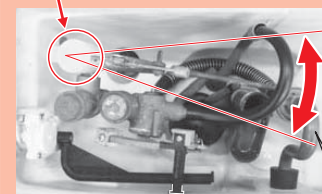
× 正しい施工状態でない場合
●下記のレバー(黒)・アーム(黒)の
位置調整を行ってください。

○ 正しい施工状態の場合
●⑧ 玉鎖を取り付けるへ

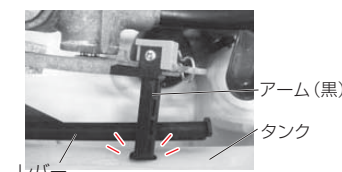
レバー(黒)・アーム(黒)の位置調整方法

① ここを支点にして調整する

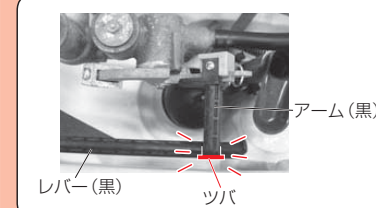
※こんなときは反時計回りに回す



[ハンドルを下げたとき]
レバー(黒)とアーム(黒)に当たる
[ハンドルを上げたとき]
アーム(黒)がタンクに当たる



※こんなときは時計回りに回す



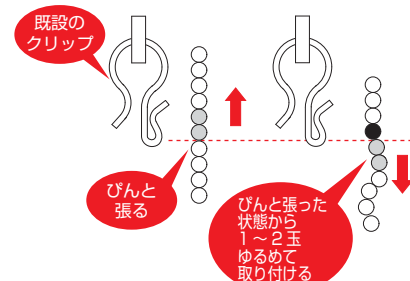
[ハンドルを下げたとき]
レバー(黒)とアーム(黒)のすき間が大きい
[ハンドルを上げたとき]
アーム(黒)のツバがレバー(黒)に乗り上げたり、レバー(黒)からはずれる

注意 試運転時、給水管固定部から漏水がないことを確認する

② 再度、正しい施工状態を確認する

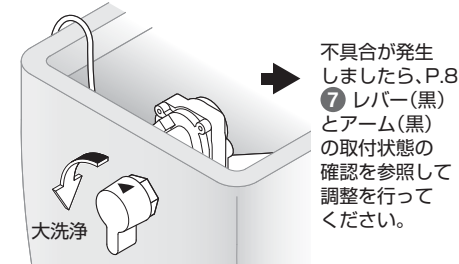
8 玉鎖を取り付ける

① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる
② びんと張った状態から1~2玉ゆるめて取り付ける



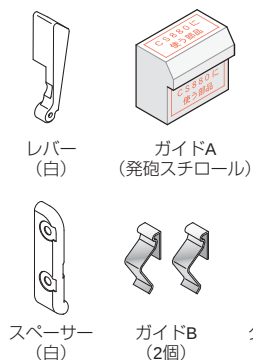
9 ハンドルを動かして確認する

① ハンドルを上げたとき、アーム(黒)のツバがレバー(黒)に乗り上げない
② アーム(黒)がタンクなどに干渉しない



1 部品を選択する

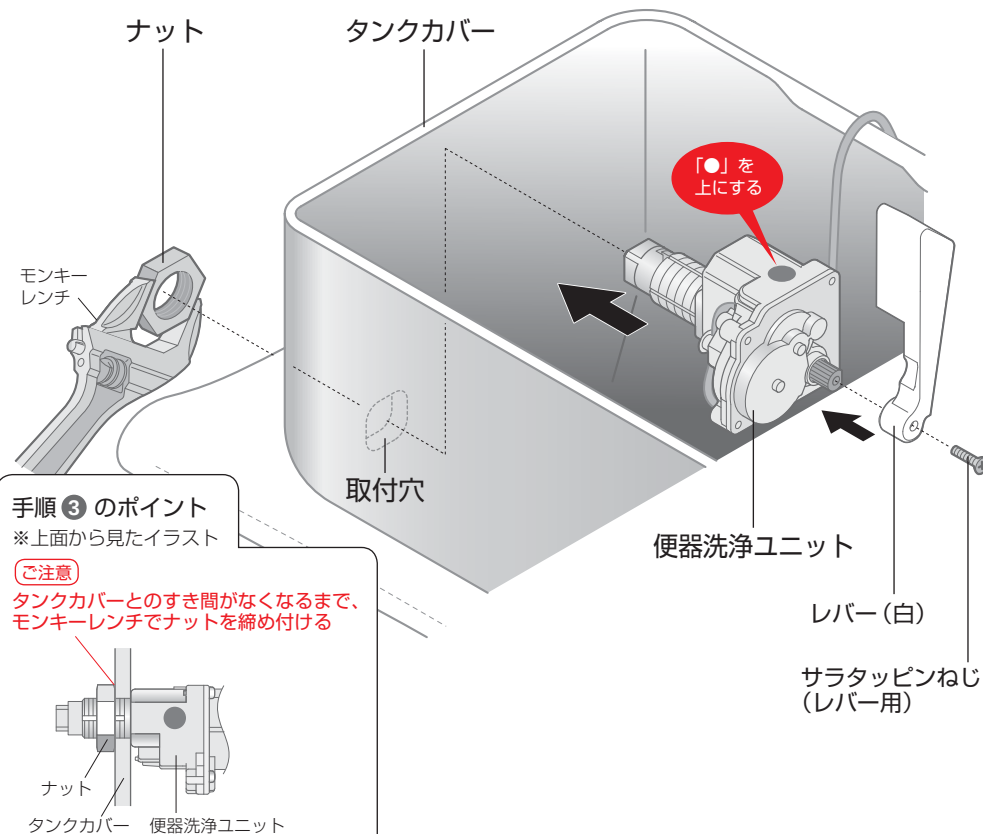
使用部品



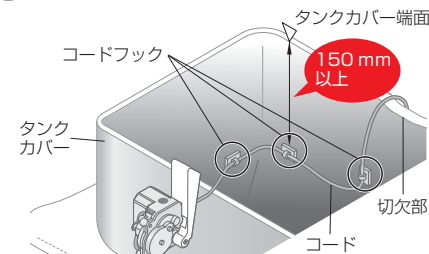
使用しません

2 便器洗浄ユニットに
レバー (白) を取り付け、
サラタッピンねじ (レバー用)
で固定する

3 便器洗浄ユニットを
タンクカバーの取付穴に
差し込み、ナットを
モンキーレンチで締め付ける

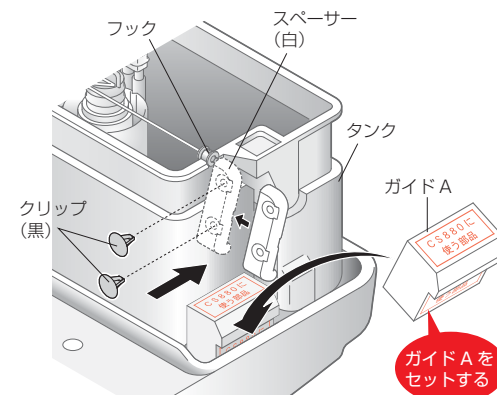


4 便器洗浄ユニットのコードを
タンクカバー内側に配線する

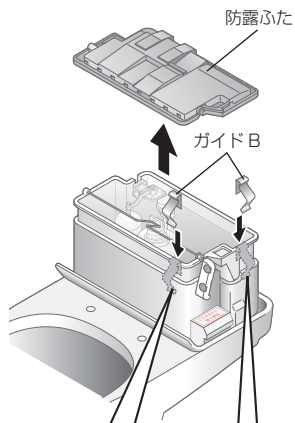


※コードを配線する (P.14) ① ② ③ ④
を参照してください。

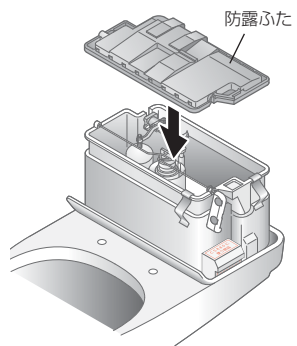
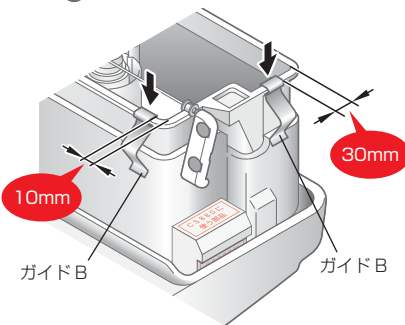
5 タンクのフックにスペーサー (白) を
取り付け、クリップ (黒) で固定し、
ガイドA をセットする



6 ガイドBと防露ふたを取り付ける

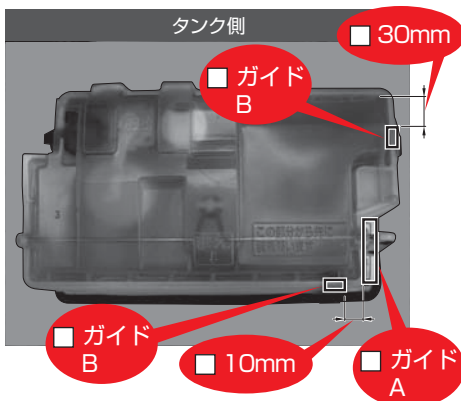
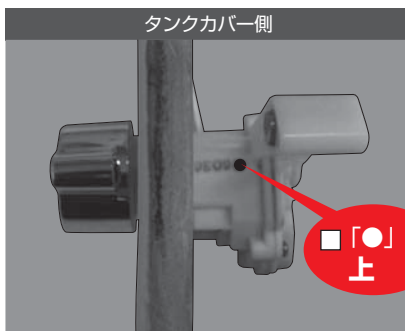


手順 6 のポイント

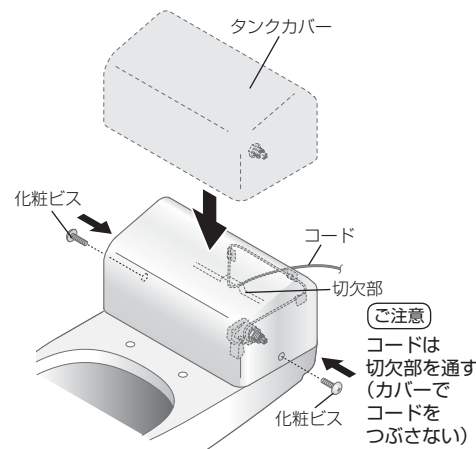


7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

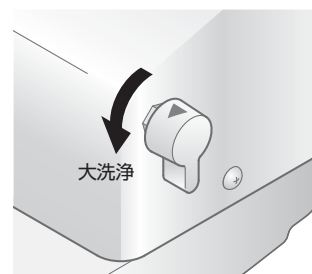
・下記チェック項目を確認し、
□にチェックを行ってください。



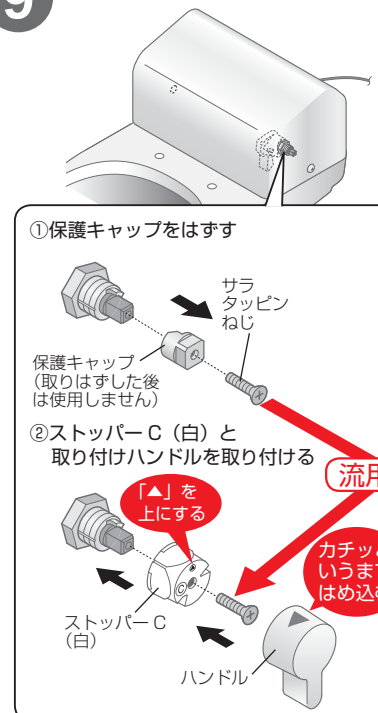
8 タンクカバーを真上から取り付ける



10 ハンドルを動かして確認する



9 ハンドルを取り付ける



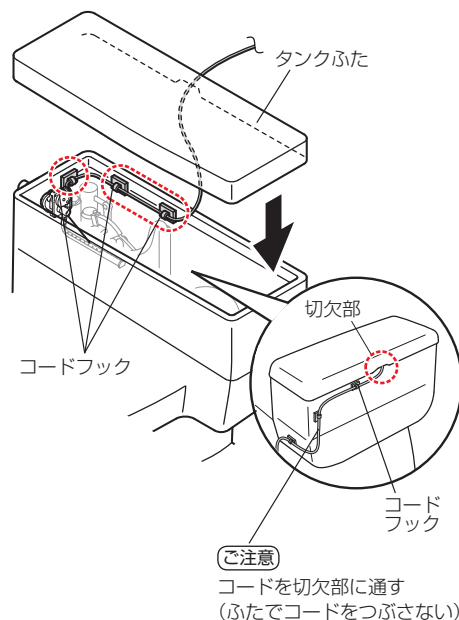
施工手順 4 ウォシュレットと便器洗浄ユニットを配線・接続する

便器洗浄モードを設定する
P.16 へ

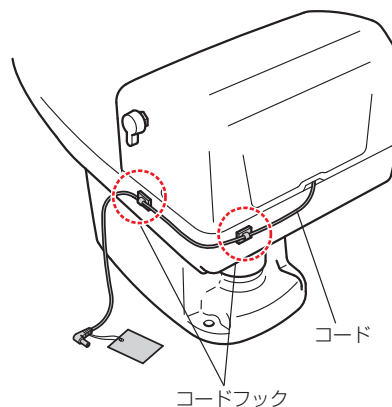
コードを配線する

- 1 コードフックの貼り付け位置を決める (水がかからない位置にする)
- 2 ①で決めた貼り付け位置の表面をサンドペーパーでこする (こすった後の粉をとる)
- 3 コードフックを貼り付ける
- 4 コードを配線する
- 5 タンクふたを取り付ける (施工タイプ A のみ)

施工タイプ A



施工タイプ B



プラグを接続する

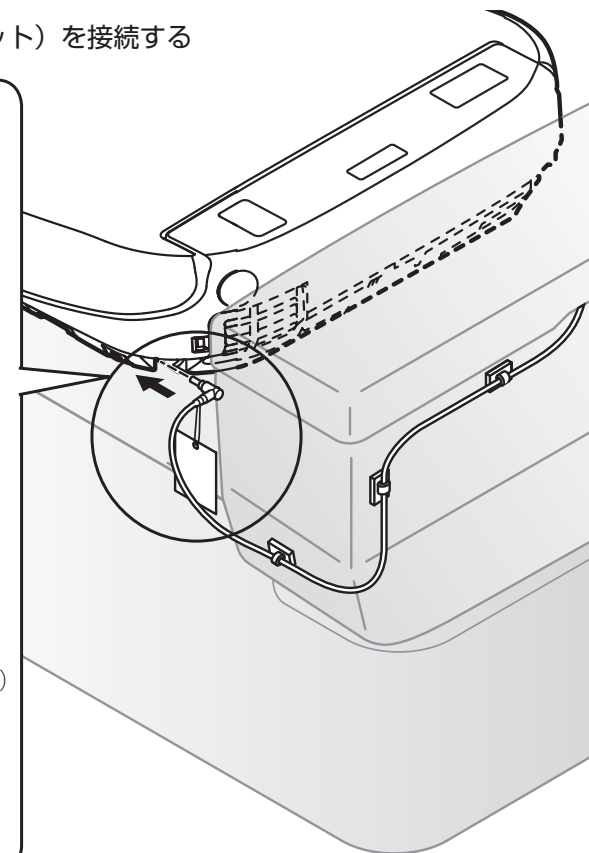
- 6 ウォシュレット本体を施工する (ウォシュレット本体の施工説明書参照)

ご注意

ウォシュレット本体を施工した後、プラグの取り付けと便器洗浄モードの設定が必要です。

- 7 プラグ (便器洗浄ユニット) を接続する

- ① 既設のキャップをはずす
 - ② プラグを横向きに根元まで確実に差し込む
 - ③ プラグを下向きに回す
 - ④ キャップを取り付ける (キャップは透明袋に同梱しています)
- (新しいキャップを取り付けしないと洗浄しない場合があります)



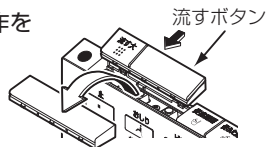
- 8 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

※必ず便器洗浄モードを設定してください
P.16 へ

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する



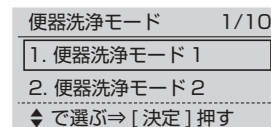
2 流すボタンを取り付ける (流すボタン取付説明書参照)

重要

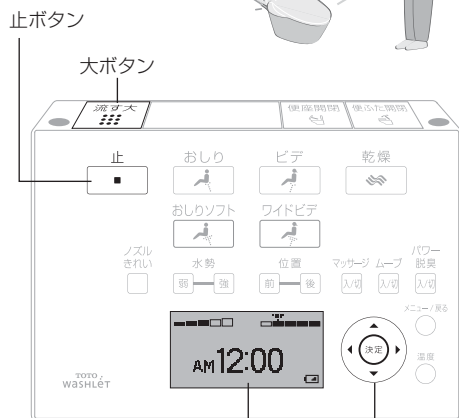
リモコンには流すボタンが取り付けいていません。必ず取り付けてください。

3 止 10 秒以上押す

※リモコン表示部が下図のようになります。



リモコンをウォシュレット本体の受信部にに向けて設定してください。



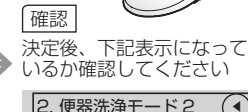
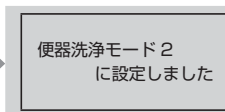
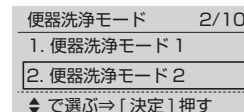
リモコン表示部 選択 / 決定ボタン

※機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンのデザインなどが異なります。

ご注意

モード設定はウォシュレット本体の取り付け、電源を入れた後に行ってください。
※取り付けずにモード設定をしても設定はされておられません。

4 上下で「便器洗浄モード 2」を選び 決定 を押す → ウォシュレット本体から電子音が 1 回鳴る



◀が表示されます

5 止 押す → 設定完了

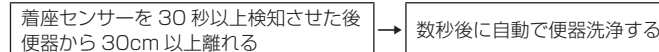
6 動作を確認する

①リモコンでの確認

※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってからもう一度ボタンを押してください。



②オート洗浄での確認



■正しく作動しない場合は、再度手順 3 から設定してください。

試運転をする
P.18 へ

施工手順 6 試運転をする

施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の作動を確認し、□にチェックを行ってください。

便器洗浄が正しく行われなときは「うまく動かないとき」(P.19)をご覧ください。

チェック



1 便器の止水栓を開ける

チェック



2 手で便器洗浄を確認する

ハンドルを「大側」に回して、「大」洗浄を行うことを確認する。

チェック



3 リモコンに流すボタンが取り付けられているか確認する

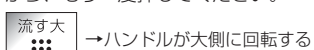
流すボタンの取付方法は流すボタン取付説明書を参照ください。

チェック



4 リモコンで便器洗浄を確認する

「大」ボタンを押して、「大」洗浄を行うことを確認する。
※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってから、もう一度押してください。

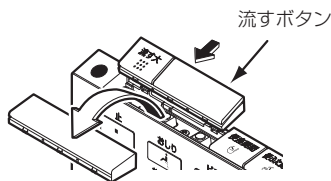


チェック



5 オートで便器洗浄するか確認する

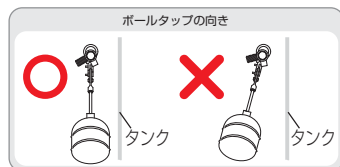
右記動作を行い便器洗浄するか確認する。



※機種によっては、ボタンのレイアウトやリモコンのデザインなどが異なります。

着座センサーを 30 秒以上検知させた後
便器から 30cm 以上離れる

数秒後に自動で便器洗浄されることを
確認する



チェック



6 ボールタップの作動を確認する

(A タイプのとき)
ボールタップの浮玉などに当たらないかを確認する。(作動不良や止水不良の原因)
浮玉は、真下に下りるように正しく取り付ける。

チェック



7 給水管固定部から水漏れがないかを確認する

(A タイプのとき)
水漏れがあるときは、ボールタップを手で固定し、給水管固定部のツバ付ナットを増締めする。

試運転が終わりましたら、ウォシュレット本体の施工説明書に従って試運転を行ってください。

うまく動かないとき

洗浄が正しく行われなときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度施工手順 (P.2) を最初から確認してください。

施工タイプ	こんなときは	ご確認ください	処置方法
A・B 共通	流すボタンがない	●リモコンに流すボタンを取り付けていますか？	リモコンに流すボタンを正しく取り付ける
	作動しない (水が流れない)	●便器洗浄ユニットのプラグが、ウォシュレットの接続口に根元まで確実に差し込まれていますか？	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける
		●既設のキャップを取り付けていませんか？	透明袋に入っている新しいキャップを取り付ける
		●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む
		●リモコンに電池が入っていますか？	リモコンに電池を正しく入れる
Aのみ	オート洗浄が作動しない (水が流れない)	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
	水が止まらない	●取りはずした部品を使用していますか？	余分な部品は取りはずす
	大洗浄しかしない	●ワンピース便器は大洗浄のみです。	
	全く流れない (モーター音はする)	●レバー(黒)とアーム(黒)が正しい施工状態になっていますか？	レバー(黒)とアーム(黒)を正しく調整する
Bのみ	流れが悪い (モーター音はする)	●玉鎖がゆるみすぎていませんか？	玉鎖を正しく取り付ける
	水が止まらない	●レバー(黒)とアーム(黒)が正しい施工状態になっていますか？	レバー(黒)とアーム(黒)を正しく調整する
	リム洗浄しない リム洗浄が継続しない	●オモリ(ねじ付)は取り付けていますか？	オモリ(ねじ付)を正しく取り付ける
Bのみ	全く流れない (モーター音はする)	●フックにスペーサー(白)が正しく取り付けていますか？	スペーサー(白)を正しく取り付ける
		●ガイド A が防露層と便器の間に差し込まれていますか？	ガイド A を正しく取り付ける
Bのみ	水が止まらない	●ガイド A が防露層と便器の間に差し込まれていますか？	ガイド A を正しく取り付ける
		●ガイド A が防露層と便器の間に差し込まれていますか？	ガイド A を正しく取り付ける